



ふなきやま 船来山67号墳・76号墳測量調査現地説明会資料

平成27年8月8日
本巢市教育委員会社会教育課

1 船来山古墳群について

船来山古墳群は、現在までに、約290基が確認されている群集墳です。古墳の数では、岐阜県内でも第1位を誇り、全国の中でも大阪府平尾山古墳群(約1407基)、和歌山県岩橋千塚古墳群(約850基)、奈良県巨勢山古墳群(約771基)、新沢千塚古墳群(約600基)などに続き、第5位になります。

船来山でのこうした群集墳は、6世紀から7世紀にかけてつくられていることが発掘調査により明らかになっていますが、それよりも前につくられた時代の古墳については、詳しいことがあまり知られていないのが現状です。そこで今回の測量調査では、昨年度に続き前方後円墳を中心に調査を行い、専門家による検討委員会の指導を仰ぎながら、古墳群としての歴史的価値をさらに高め、古墳群の保護を図っていきたいと考えております。

2 今回測量した船来山67号墳と76号墳について

今回測量調査を実施した船来山67号墳・76号墳は、船来山富有柿の里遊歩道より東へ三角点の方向へ進んだ、標高約106mの場所に立地する古墳です。

地図



今回も、岐阜県立岐阜農林高等学校のご協力をいただき、環境科学科の先生と生徒、市民の方々と協働で行いました。

3 船来山 67 号墳について

船来山 67 号墳については、^{ふき}葺石が伴うことはわかっていましたが、正確な古墳の形が不明なままでした。また隣接する 76 号墳と一体とする前方後円墳という見方もありました。しかし、今回の測量調査の結果、76 号墳とは別の古墳であることが判明しました。墳形は、正方形とは言えませんが、約 24m×約 17m の長方形に近い方墳である可能性が高く、また、広くびれ部のある福井県杉谷 1 号墳のような前方部をもつ古墳とみることもできます。67 号墳の墳頂にみられる葺石は、古墳時代より後の時代に改変された可能性を示しています。67 号墳の築かれた時期は、76 号墳とほぼ同時に築かれていることから、古墳時代前期（4 世紀）と考えられます。



左：調査風景 前方部より後方を望む

右：76 号墳後方墳丘に残された葺石（墳丘に埋もれるように良い状態で残されています）

4 船来山 76 号墳について

船来山 76 号墳については、今まで特に取り上げられることがなく、墳形や大きさなども不明なままでした。また、67 号墳の一部とみなされることもありました。

しかし、検討委員会による現地視察によって、古墳の形状や葺石が良好な状態にあることが判明し、前方後円墳である可能性も指摘されていました。

今回の測量調査によって、古墳は、全長約 30m の古墳であり、低い前方部をもつ前方後方墳の可能性が高いことが分かりました。前方部と後方部の比高差は 2.6m あり、古墳としては古い要素を示しています。後方部には、川原石の葺石も残されており、古墳をつくるために、川から運んできたものと考えられます。また、前方部の南側、平野部側には、平坦な面が確認できます。山の下にあったムラを意識したものでしょうか。この古墳は、墳丘の形状や前方部との比高差を考慮すると、古墳時代前期（4 世紀）の築造と考えられます。



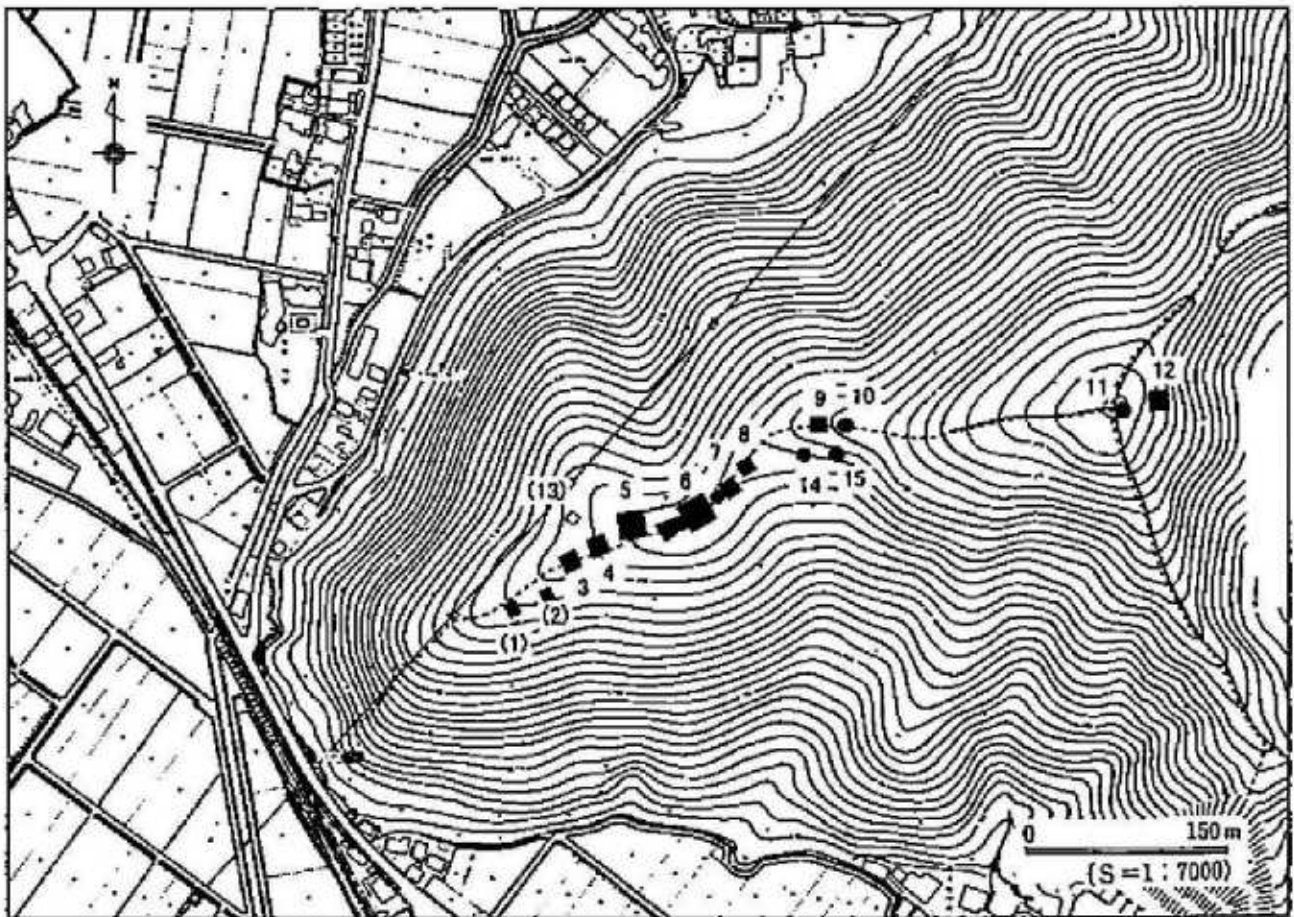
まとめ

船来山 67 号墳と 76 号墳では、尾根を切断する掘割によって、2 つの墳丘を同時につくり出し、並んで築かれていることがわかりました。どちらが先に築かれたのかは、発掘調査をしてみないとわかりませんが、これだけ近い位置につくられていますので、きわめて親しい関係ではなかったかと想像されます。このように、尾根上に分布する古墳には、前期古墳に属するものも含まれ、近接して築造されていることが確認されました。

船来山 76 号墳から西へ 300m ほど離れた 62 号墳（平成 25 年調査）も、測量調査の結果、前方後方墳である可能性が指摘されています。船来山の西側の尾根上は方墳を基調とする前期古墳でまとまる可能性も出てきました。こうした前方後方墳や方墳が卓越する古墳群とし

では、近隣の揖斐川町白石古墳群^{こまいの}、養老町象鼻山古墳群^{やうびざん}に類例があり、方墳の時代から船来山5号墳（全長約62m、平成26年度調査）のような前方後円墳の時代へと、前期中葉から後葉（4世紀後半）にかけて変わる可能性も出てきました。

過去に調査された24号墳や27号墳などの東側の古墳は、円墳や前方後円墳と報告されています。同じ船来山の中で、なぜ東西で墳形の異なる前期古墳が形成されるのか、また今回の古墳のようにほぼ同時期に築造される古墳の性格をどのように考えるのか、標高約115mに立地する前方後円墳の5号墳が登場する背景は何かなど、これまで船来山古墳群を特徴づけた横穴式石室にみる後期・終末期古墳の築造前の様子が少しずつ明らかになってきました。



上 揖斐川町白石古墳群（「揖斐川町史 追録編（2005）」より転載）